

## 道路関係四公団民営化推進委員会の意見について

平成十四年十二月十日（火）

閣議 内閣総理大臣発言要旨

道路関係四公団民営化推進委員会においては、改革の意欲に富んだ七人の委員により、これまで、公開の場で精力的に審議を重ねていただいたところであり、七人の委員の方々の熱意とご尽力に敬意と感謝を申し上げるべきものと考えている。また、意見のとりまとめに当たり、同委員会の運営等に尽力いただいた石原行政改革担当大臣に対しても、その労をねぎらう次第である。

最終的な意見のとりまとめに当たっては、石原大臣の報告にもあったように、いくつかの点で意見の対立が解けず、委員長が辞任するなど、残念な面もあったところであるが、これまでの審議により、同委員会は、債務の確実な返済、建設コストの削減、ファミリー企業のあり方の見直しなど、今後の改革の具体化に向けて大きな成果を上げてこられたものと認識している。

今後、この意見を基本的に尊重するとの方針の下、これまでの同委員会の成果を踏まえつつ、審議経過や意見の内容を十分精査し、必要に応じ与党とも協議しながら、政府として改革の具体化に責任をもって取り組んでいきたいと考えている。

意見を受けての政府の対処方針の具体的な検討に当たっては、とりまとめを扇国土交通大臣にお願いすることとするが、あわせて関係各位の格段の協力をお願いしたい。